

平成 30 年度 しらとり 事業報告

I 概要

1) 利用者動向

母子生活支援施設の年間利用実績は 29 世帯（月平均 19.2 世帯）で、DV被害者が 22 世帯(75.9%)、住宅困窮が 4 世帯(13.8%)、養育困難(虐待)が 3 世帯(10.3%)、平均在所期間は、約 1 年 2 ヶ月であった。また、今年度の新規利用世帯は、11 世帯で市部 7 世帯、区部 4 世帯であった。退所世帯は 14 世帯（前年度 18 世帯）であり、都営 4 世帯、母子分離が 1 世帯（母親入院、子どもは乳児院）、親族との同居が 2 世帯、それ以外の転出が 4 世帯であった。母子（父子）緊急一時保護の利用は 6 世帯であり、その内 4 世帯が家族や男性による DV・虐待からの避難であり、2 世帯が住宅困窮であった。

2) 職員・育成（職員の定着・安心の実現）

異動職員 2 名、新規採用職員は正規職員 2 名、契約職員 1 名を新たに迎え、正職員 14 名、契約職員 5 名の体制の中で職位別研修、基本スキル研修、施設内研修を定期的実施し職員個々の資質向上を図り人材育成に努めた。

II 平成 30 年度事業計画の重点業務目標について

①社会福祉法人として、利用者の満足を追求する

事業計画に基づき、利用者の安全・安心を第一に支援を行った。利用者支援は、計画通りに自立支援計画の見直しスケジュールをたて、毎月、各部署と自立支援計画を協議し、世帯支援のためチームで取り組むことができた。

②社会福祉法人として、家族支援・地域支援の拠点となる

地域公益活動として、原則地域在住の中中学生を対象とする学習支援サロン「SKY」に延べ約 150 名の児童を受け入れ、内 2 名の受験生は無事目標の高校に進学することができた。

③社会福祉法人として核となる職員の定着・安心の実現

年度途中に 1 名の産休からの育休、2 名の育休（男女各 1 名）、内 1 名の育休期間中の退職があったが、配置基準を遵守し欠員を生じさせることなく、また業務に支障がでないように対応し施設運営を行うことができた。職員の健康の自主管理に向けた「健康相互チェック」を毎週実施した他、心身の健康の維持のための月に 1 回の法人相談担当との一人年 1 回以上の個人面談、「ストレスチェック」等を行った。

④社会福祉法人としての経営体制の確立

従来の役割に加え、長期的ビジョンを視野に千代田区より受託し、区内老人福祉介護保険事業等職員を対象とする日祭日事業所内一時預かり「ホリデールームすずめ」をかんだ連雀にて開始した。

III 事業別動向

1) 母子生活支援施設

積極的に広域からの受け入れを行い、年間入所率 96.2%を達成した。14 世帯が退所し、近隣に退所した 4 世帯についてはアフターケアを実施した。

2) サービス事業

各事業の利用増に向けて地域・関係機関に積極的にアピールした。母子（父子）緊急一時保護については急増した前年の利用者数を更に大きく上回り、トワイライトステイも微増となった。

3) 子ども家庭支援センター

ホームページやメール配信サービス等を活用し、認知・利用の拡大に努めた。その結果企画講座「しらトレ！」参加希望が増え、オープンルームの安定的な利用者確保につながった。

IV リスクマネジメント

1) 苦情・第三者評価

利用者からの苦情は 1 件であった。他機関への匿名通報であり、制度に則り対応し、解決に至っている。

サービス自己評価は法人統一の様式で実施、評価結果と分析内容を各担当ごとに共有した。

福祉経営ネットワークによる第三者評価を受審し、サービス評価の結果内容を踏まえ事業等の見直

しを行った。

2) 感染症等予防・蔓延防止の取組

職員への感染予防に対する施設内研修を実施する他、利用者への日常的な啓発によりインフルエンザ等感染症の伝染・拡大を最小限にとどめることができた。

3) 緊急・事故対応

ひろばにて利用児が不意に親の手を離れ、職員が咄嗟に制した際の子の脱臼、職員運転時車両が路肩に乗り上げてのパンクの2件であった。

4) 防災

平成23年3月の「東日本大震災」や本年6月の「大阪北部地震」、9月の「北海道胆振東部地震」の被災事例の経験、教訓から、法人内での連携強化や施設内対応強化を目指し、毎月の防災訓練を実施し、6月27日に行われた「府中市自衛消防審査会」に泉苑との合同隊として女性職員1名が参加した。4・7・8・10・3月には地震想定避難訓練を行い、10月15日には法人統一の訓練として地震が発生したという想定での行動訓練を実施し、対策会議や防災器具・備品等の点検をも行った。また備蓄は入所利用者と職員だけでなく、地域からの避難者も想定して食料の増強を継続した。11月には泉苑とともに東京消防庁より防災の取り組みが表彰された。

V 事業別年間の実績概要

1) 入所部門（母子生活支援施設）

	初日在籍		入 所		退 所		月末在籍		初日在籍児		取扱（延）	
	世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員	未就学	就学	世帯	人員
計	231	595	11	29	14	36	217	559	241	122	6,858	17,823

2) サービス部門

	利用実世帯	利用延べ世帯	利用実人数	利用延べ人数	利用延べ日数
トワイライトステイ	44世帯	577世帯	55名	2355名	2355日
ショートステイ	10世帯	10世帯	16名	18名	88日
母子（父子）緊急	6世帯	184世帯	9名	262名	262日
ひろば	登 録 者	利 用 者			
		大人	子ども	合計	組数
	420名	2061名	2674名	4735名	2020組

3) 苦情事故報告

	延べ件数	月平均数件数	解決件数	未解決件数	対応中件数
利用者からの苦情	1	0.1	1	0	0
事業所からの苦情	0	0	0	0	0
職員からの苦情	0	0	0	0	0
その他苦情	0	0	0	0	0
施設内事故	1	0.1	1	0	0
施設外事故	1	0.1	1	0	0

